

「魔笛」

11月17日 J館スタジオ



付属高校の「魔笛」の公演が行われました。「声楽演習」の発表会という位置づけですが、開場前からお客様が列をなし、立ち見も出るほどの盛況ぶり。

今回、初めて全ての歌唱は原語（ドイツ語）での上演とのこと。高校生にはもちろん、指導者もかなりご苦労があったと察します。しかし原語上演が主流になりつつある中、はじめは困難が伴うとはいえ、英断であると思われまます。

さて幕が開くと、ソリスト、合唱団の熱唱と熱演を十二分に楽しめました。制約のある中にも道具が立ち、転換も出演者が行い、衣裳、照明も本格的でした。適度なカットがあり、またセリフは日本語で、ナレーションも入り、展開も分かりやすいものでした。幕が下りた瞬間、ただただ拍手。観客の拍手は鳴り止みませんでした。

「魔笛」の物語は多様な解釈を許しますが、パミーナが母親の保護を離れ、愛するタミーノとともに試練を乗り越え、大人に成長していくストーリーといえるでしょう。

高校生が「魔笛」という試練を通して大きく成長していくにちがいない・・・こう確信することができた公演でした。